

「高い視座」「広い視野」で
ものづくりを担う
将来の役員・幹部を育成する

～技術者から経営者へ～
選抜型研修のご案内

＜お問い合わせ先＞

JMI生産・開発マネジメントコース 事務局

(担当:小関・海老原・斎藤)

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター

TEL: 03-3434-1410 E-mail: jmi_skm@jma.or.jp

問合せフォーム



2023年5月(第5版)

JMI生産・開発マネジメントコース

2023年度(第34期)開催概要

JMI生産・開発マネジメントコースとは

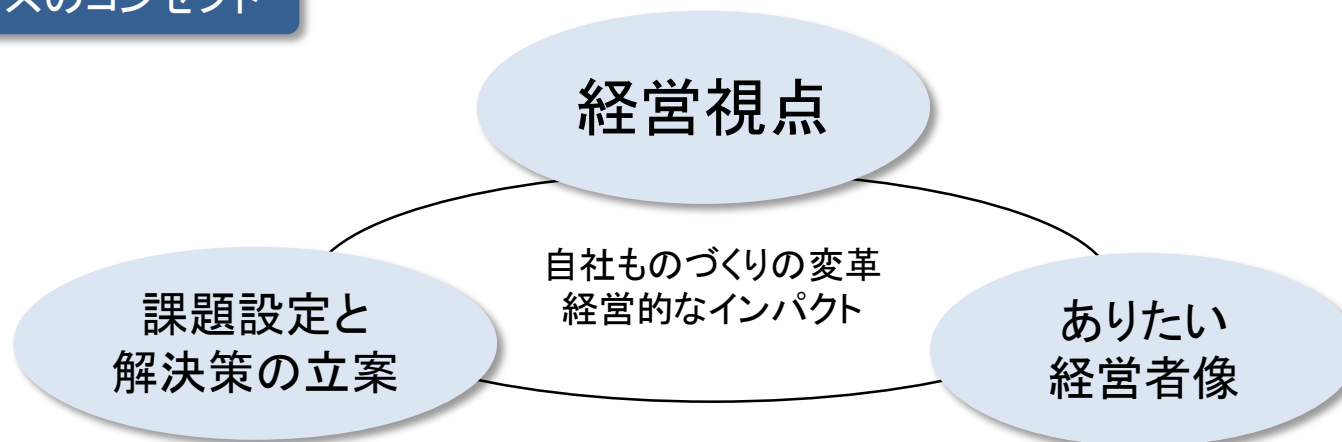
コースのゴール

「高い視座」「広い視野」でものづくりを担う将来の
役員・幹部を育成する

めざすリーダー像

10年後、20年後を見据え
自社のものづくりの変革を実現し、経営にインパクトを与えるリーダー

コースのコンセプト

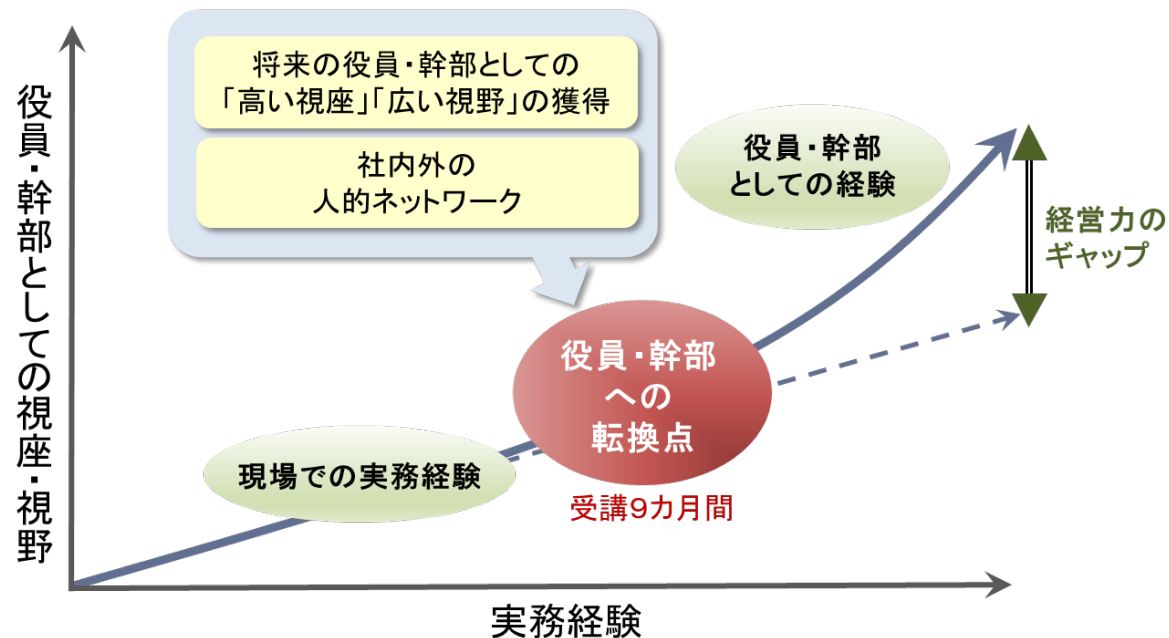


研修のねらいと位置付け

研修のねらい

- ◆ 多様な講師陣との対話、討議により、
役員・幹部に必要な「視座」を高め、「視野」を広げる
- ◆ 多様な受講者と深い議論を重ね、互いに切磋琢磨することで
志を共有する一生の絆を醸成する

位置付け



2023年度(第34期)開催概要

会 期 / 会 場

2023年7月20日～2024年3月8日(全9単位:計28日間)

日本能率協会(東京都港区芝公園)他

原則、対面形式で実施

参加対象

製造業において将来基幹人材として、活躍されることを期待されている部長～課長の方
(部門:生産企画、生産技術、生産管理、品質管理、研究開発、SCM戦略他)

定 員

24名

参加料(税込/1名)

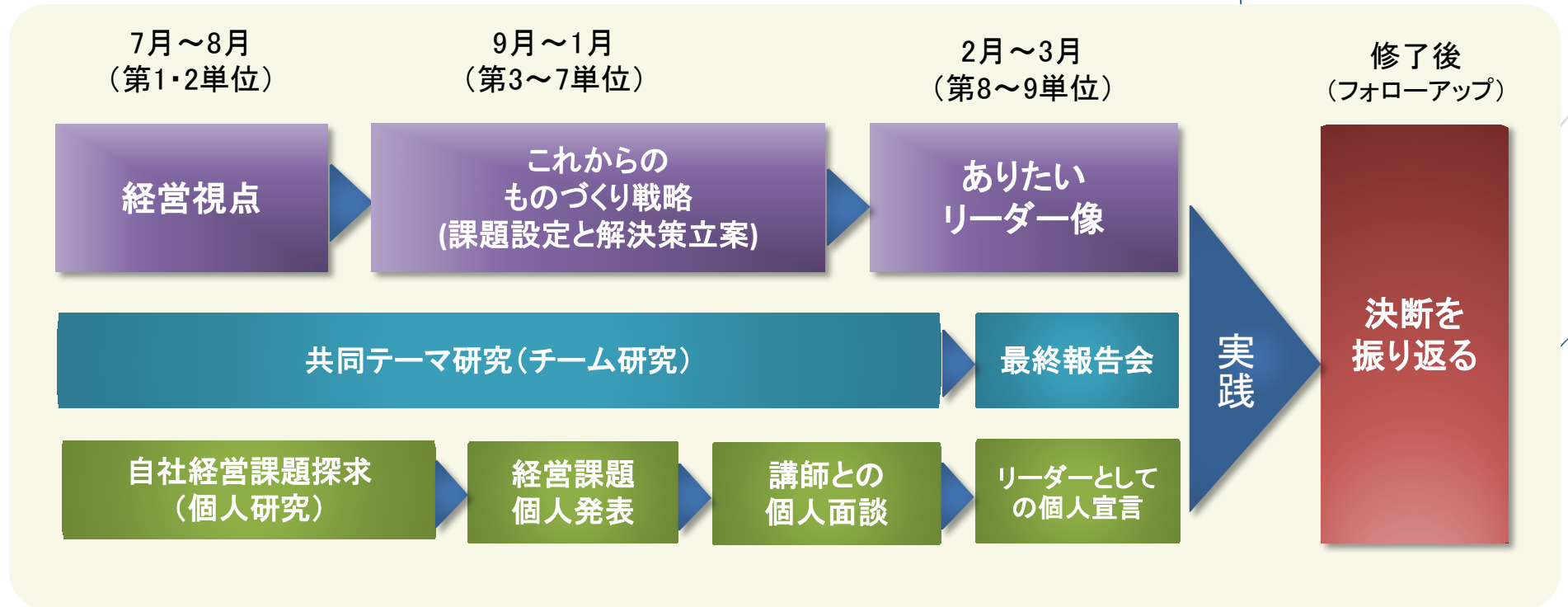
※お申込規定詳細はP12をご覧ください

日本能率協会法人会員: ¥ 2,728,000 法人会員外: ¥ 3,058,000

参加料には、研修費、合宿時の宿泊費、会期中の昼食費、テキスト費が含まれております。
研修会場への交通費(現地集合・現地解散となります)、課題図書等の費用は含まれておりません。



コース構成



プログラム概要

大テーマ	経営視点		これからのものづくり戦略 (課題設定と解決策立案)					ありたい リーダー像	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
単位・月	7月20～22 3日間	8月24～26 3日間	9月20～22 3日間	10月11～13 3日間	11月12～18 7日間	12月7～8 2日間	1月18～19 2日間	2月8～10 3日間	3月7～8 2日間
プログラム	経営者の役割 経営視点 自社経営課題ワークショップ①	共同テーマ研究オリエンテーション 財務・会計 自社経営課題ワークショップ②	ものづくり戦略 (ものづくり戦略の本質を考える)	イノベーション (イノベーションの本質と共創を考える)	これからのものづくり戦略 (ドイツ合宿)	ものづくりの進化 (最新のスマートファクトリーから ものづくりの進化を考える) 個人面談	海外視察報告会 (企業のサステナビリティと 人づくりを考える)	リーダーとしての人間力 (ありたいリーダー像を描く)	実行のための自身のあり方 (リーダーとしての決意表明)
共同 テーマ 研究		オリエン	チーム 指導	中間 レビュー	チーム研究	チーム研究	直前 レビュー	チーム 研究	最終 報告会
個人 研究	自社経営 課題探求	自社経営 課題探求	個人 発表準備	自社課題 個人発表		個人 面談			個人宣言

※プログラム内容等は変更になる場合があります。

※海外合宿は、国際情勢、コロナ感染状況、その他の理由により、国内合宿+海外オンラインセッションに変更する場合があります。

主な講師陣 (予定)

主任講師



坂爪 裕氏
慶應義塾大学大学院 教授
経営管理研究科委員長
ビジネス・スクール校長

【略歴】

1989年慶應義塾大学文学部人間関係学科人間科学専攻卒業、アンダーセン・コンサルティング(現:アクセンチュア)、(株)さくら総合研究所(現:日本総合研究所)を経て、2001年京都産業大学経営学部専任講師。2004年より慶應義塾大学大学院経営管理研究科専任講師、2006年助教授、2012年教授。2021より現職

【専攻分野】生産政策 生産マネジメント



山根 庸史氏
元 本田技研工業株式会社
専務取締役 生産本部長

1985年 ホンダエンジニアリング株式会社 入社
2004年 本田技研工業株式会社 生産本部二輪生産企画室長
2008年 執行役員
2010年 本田技研工業(中国)投資 有限公司副総経理
2012年 本田技研工業株式会社 生産本部 鈴鹿製作所長
2014年 常務執行役員
2015年 専務執行役員 同 生産担当
2017年 専務取締役
2019年 生産担当取締役(生産、購買、品質、パーツ、サービス)
リスクマネジメントオフィサー
一般財団法人 日本自動車研究所 代表理事(2016~2018)
一般社団法人 日本自動車工業会 理事(2018~2019)



林 繁雄氏
元オリンパス株式会社
取締役 専務執行役員 製造部門長

【略歴】

1981年 オリンパス光学工業(現オリンパス(株))入社
1981~2003年 生産技術部(革新的加工法 & 革新的設備の開発)
2003年 経営企画室
2008年 伊那工場長
2011年 長野オリンパス代表取締役社長
2012年 ものづくり革新センター長
2015年 製造部門長
2019年 オリンパス退任

共同テーマ研究指導

共同テーマ研究指導
個人面談
自社経営課題WS指導
講義(経営視点)

共同テーマ研究指導
個人面談
自社経営課題WS指導
講義(経営と現場)

主な講師陣 (予定)

単位テーマ講師

<経営戦略>

早稲田大学

教授

藤本隆宏氏

<財務・会計>

早稲田大学

大学院経営管理研究科(ビジネススクール)教授

西山茂氏

<DX>

元コニカミノルタ 取締役 兼 常務執行役(CTO)

腰塚國博氏

ほかに、**経営者・実務家による講義・事例研究**を予定

【ご参考】前年度(2022年度)開催実績

実施概要

会 期 : 2022年7月28日～2023年3月10日 (全9単位:計30日間)
参加企業 : オリンパスメディカルシステムズ、アステラス製薬、オカムラ、カネカ、コーセル、
(19社23名) ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ、ダイキン工業、ダイト、
テルモ、東海理化、トヨタ自動車、長野オリンパス、日産自動車、日本電気、
パナソニックホールディングス、本田技研工業、マツダ、ローム浜松、YKK

2022年度 主な経営者講師 (ご出講順)

パナソニックホールディングス	取締役副社長執行役員	宮部 義幸氏
元本田技研工業	専務取締役生産担当取締役	山根庸史氏 (講義・メンター)
小西美術工藝社	代表取締役社長	デービッド・アトキンソン氏
元オリンパス	取締役 専務執行役員 製造部門長	林 繁雄氏 (講義・メンター)
元コニカミノルタ	取締役常務執行役CTO	腰塚國博氏
元味の素	取締役専務執行役員	五十嵐弘司氏

2022年度 企業視察

- ・ダイキン工業 臨海工場(9月/大阪)
- ・日立製作所 大みか事業所(11月/茨城)
- ・ブリヂストン イノベーションパーク(12月/東京)
- ・フラウンホーファーIPA、FESTO、BASF、TRUMPF (1月/ドイツ合宿)

過去参加企業(一部抜粋)

(会社名当時)※50音順

- アステラス製薬株式会社
- NEC(日本電気株式会社)
- NECプラットフォームズ株式会社
- 株式会社オカムラ
- オムロン株式会社
- オリンパス株式会社
- 花王株式会社
- 株式会社カネカ
- キヤノン株式会社
- ソニー株式会社
- ソニーグローバルマニュファクチャリング & オペレーションズ株式会社
- ダイキン工業株式会社
- ダイト株式会社
- 武田薬品工業株式会社
- TDK株式会社
- テルモ株式会社
- 株式会社東海理化
- トヨタ自動車株式会社
- 日産自動車株式会社
- 日本軽金属株式会社
- 日本製薬株式会社
- 日本無線株式会社
- パナソニック株式会社(現パナソニックホールディングス)
- 株式会社フジクラ
- 富士ゼロックス株式会社(現富士フイルムビジネスイノベーション)
- 本田技研工業株式会社
- マツダ株式会社
- ヤマハ株式会社
- 横浜ゴム株式会社
- 利高工業株式会社
- ロート製薬株式会社
- YKK株式会社

受講者の気づき・学び(受講レポートより抜粋)

経営者の立ち位置、すなわち**高い視座**、**広い視野**をもって考え行動する意識が高まった。
具体的には、世の中の動向や市場の変化を敏感にキャッチし、常に危機感を持ってものごとを考え、素早く意思決定していくことを日頃から意識し行動できるようになってきた。
自分のミッションは“三方良し”の起点でメンバー全員がワクワクする未来のものづくりビジョンを描き方向性を示すことである。

これまで築いてきている現場の組織力、改善力を延長で強くし、生かしていくことは継続していく。
ただし、その中のある一定の割合(1割強程度か)のリソースを、‘遊び心’のある取り組み、つまり**未来の競争力につながるようなチャレンジ**や、**個々が積極的に取り組めるような基盤**を現場最前線の管理職として、形にしていきたい。

会社を取り巻く環境の変化が激しい中、自分達の強みや独自技術を活かして、将来の脅威に対してどのようにして事業を継続していくか？ **社会貢献や働く人を大切にしながら、もっと深く、鋭く考え、提案・実行できるようになりたい**と思います。

JMI研修 受講当初は、「経営者」というのは社会動向・顧客ニーズに対する鋭い感性や、事業・金融に関する高いリテラシーというような、豊富な知識・感性が重要と考えていましたが、JMI研修を進め、またメンバーとも意見を交わす中で「人材育成」の重要性をより深く認識しました。「自分の夢・成し遂げたい事を実現するためには、**自分の意思を理解・共感してくれる仲間づくりこそ重要**」という考えを強く・深く認識しました。

自社が10年先、30年先に持続的に成長していくためには、**ステークホルダーである「株主」「顧客」「従業員」「サプライヤー」「コミュニティ」から共感と安心が得られるような価値を創出し続けることが重要。**

修了者インタビュー

Webサイトから
ご覧いただけます

<https://jma-production.com/>

お申込み規定

お申込みにつきましては、下記規定をご確認・同意のうえ、次ページの事務局までご一報ください。

コース名	会期	参加料／法人会員 ※(税込)	参加料／法人会員外 ※(税込)
JMI生産・開発マネジメントコース	2023年7月～2024年3月	¥2,728,000／1名	¥3,058,000／1名

※法人会員とは、一般社団法人日本能率協会の法人会員を指します。法人会員ご入会の有無につきましては、右記HPにてご確認ください。 <https://list.jma-member.com/companies/index/5>

〈参加料に含まれるもの〉

- 国内外の合宿の宿泊費
- 国内外の合宿の開催期間における交通費（＊航空運賃は除く）
- テキスト費（必読書・参考書籍除く）
- 昼食費（オンライン時は除く）

〈参加料に含まれないもの〉

- 国内外の研修開催地までの交通費・前日宿泊費
- 国内外含めた自由行動を取る場合の交通費と飲食費

各種送付物・受講料のお支払いについて

- 請求書は原則として、「申込責任者」宛に、開催日の約1か月前に送付いたします。事前資料は、随時お送りいたします。
- 参加料は、請求書記載の支払期限までに指定口座までお振込みください。
- 振込手数料は貴社にてご負担くださいますようお願いいたします。お支払い方法等につきご希望がございましたら、お問い合わせください。

注意事項

- 教育研修団体、経営コンサルタント、教育インストラクターの方のお申込みは、お断りする場合がございます。
- テキストは会場でお渡しします。参加者以外の方にはテキストはお分けいたしません。
- 録音、録画、撮影はご遠慮ください。

参加申込後の取り消し(キャンセル規定)

お申込み後、参加者の都合にてキャンセルをされる場合、下記のとおりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。

なお、キャンセルのお申し入れは、必ずメール(jmi_skm@jma.or.jp)にてご連絡ください。

■キャンセル規定

開催30日前～15日前(開催日を含まず起算): 参加料の10%
開催14日前～8日前(開催日を含まず起算): 参加料の30%
開催7日前～前々日(開催日を含まず起算): 参加料の50%
開催前日および当日: 参加料の全額

コロナ感染拡大 その他による特別対応

- 開催形式は基本的には集合型にて開催します。但し、コロナ感染拡大などの影響により、集合型での開催が難しいと判断した場合は、リモート開催に変更します。(Zoomを使用します)
- リモート開催になった場合も参加料の変更はありません。
- 海外合宿は、コロナ感染状況、国際情勢、その他の理由により、国内合宿+海外オンラインセッションに変更する場合があります。
- 開講前(7月)に、参加企業様の海外出張可否状況を確認させていただいたうえで、海外合宿の実施判断を行います。

ご不明な点がございましたら下記「事務局」までお気軽にご相談ください。

JMI生産・開発マネジメントコース 事務局

担当: 小関・海老原・斎藤

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
一般社団法人日本能率協会 産業振興センター
TEL: 03-3434-1410 E-mail: jmi_skm@jma.or.jp

<https://jma-production.com/>